

【ともに守る】安全・安心な暮らしを守り支えるまち

■防災ハザードマップ作成事業

和歌山県が指定する市内の土砂災害警戒区域および特別警戒区域について、地域住民への周知を図り防災意識の向上と対策を促すことを目的とし、防災ハザードマップを作成するための予算を計上しています。

■緊急自然災害防止対策事業

台風などの自然災害への対策として、令和2年度は大谷川の護岸の水制工事費、学文路地域における浸水対策工事費、排水ポンプの発電機を購入するための予算を計上しています。

■通学路安全対策施設整備事業

通学路の安全を確保するための橋本市通学路交通安全プログラムに基づき、令和2年度は、慶賀野垂井線に防護柵を継続設置するとともに、御幸辻吉原線の道路照明灯を整備する予算を計上しています。



■杉村やすらぎ広場整備事業

杉村公園は、国道371号バイパスや京奈和自動車道の整備によりアクセス環境が良くなったことから、利便性の向上を図るため社会資本整備総合交付金を活用し、隣接した駐車場、トイレなど広場の整備を行います。令和2年度は、遊具や植栽、案内板などを設置するための工事費および整備事業の効果分析をするための委託料を予算計上しています。



◀現在の杉村やすらぎ広場の様子

■水槽付き消防ポンプ自動車購入事業

火災に対してより迅速な対応ができるよう、水槽付き消防ポンプ自動車1台を更新する予算を計上しています。

【ともに育てる】子どもから高齢者までともに育み学び合うまち

■山田さつきこども園整備事業

岸上保育園、柏原保育園、山田保育園を統合し、民設民営による公私連携幼保連携型認定こども園を整備するため、旧柏原保育園園舎の解体工事などに伴う負担金と、新築する山田さつきこども園園舎建設に伴う補助金を予算計上しています。

■文化センター耐震改修事業

建築基準法改正（昭和56年）以前に建築した文化センターのうち、耐震基準を満たしていない岸上文化センターと名古屋文化センターについて、工事監理委託および耐震改修工事費を予算計上しています。

■小中学校トイレ改修事業

柱本小学校、三石小学校、橋本中央中学校のトイレを改修（トイレの洋式化および床の乾式化）するための設計委託料を予算計上しています。

■たんぼぼ園整備事業

たんぼぼ園園舎の老朽化対策および受入定員を増員するため、園舎を新築移転します。令和2年度は、園舎の新築と外構工事費および新園舎の備品購入費などを予算計上しています。

■国民文化祭実行委員会補助事業

令和3年度に和歌山県で開催される第36回国民文化祭および第21回全国障害者芸術・文化祭において、橋本市内で事業を実施するため、実行委員会による前年開催地視察などの準備活動のための補助金を予算計上しています。



▲PRロゴマーク

令和2年度に取り組む主な事業

橋本市では、平成30年度から10年間のまちづくりの指針となる「第2次橋本市長期総合計画」を作成しています。

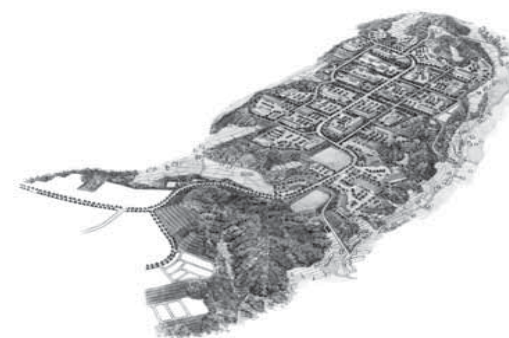
まちの将来像「人輝き あたたかさ湧きでる みんなで創造する元気なまち 橋本」を実現するために、3つの基本目標を示しています。本年度の予算編成は、基本目標の達成に向け編成されていることから、3つの基本目標に沿って紹介します。



【ともに創る】産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

■工業団地造成事業

南海電気鉄道株式会社・和歌山県・市の三者で協力して実施しているあやの台北部工業団地第一地区土地区画整理事業について、造成工事費や環境影響評価事後調査などの委託料を予算計上しています。



◀完成イメージ図

■ふるさと橋本応援寄附金事業（歳入）

市の魅力や地域産品を全国にアピールし、ふるさと橋本応援寄附金の促進を通じて歳入の確保に取り組みます。

■高野山麓精進野菜産地化事業

国の補助金を活用し、高野山の食糧供給地としての役割を担っていた本市農産物の産地化、ブランド化を進め、付加価値の向上を図るための経費として、土壌や生産された野菜の検査および分析などを行うための予算を計上しています。



▲高野山麓精進野菜が並ぶ売り場

■アジアヘラブナサミット事業

昨年に引き続き「ヘラブナ釣り」と紀州へら竿の町「橋本」として、本市がプラットフォーム（基盤）としての役割を担い、伝統文化であるヘラブナ釣りを支える関係者とともに、業界発展に寄与するための場として「アジアヘラブナサミット」を開催する予算を計上しています。



▲アジアヘラブナサミットの様子

■転入夫婦新築住宅取得補助事業

若年層および子育て世代の転入を増やし、人口の増加を図るため、40歳未満の転入夫婦が新築住宅を取得する場合の補助金を予算計上しています。

